

「ムダと“間”をワイワイ楽しもう！第1回 EAJC 井戸端会議」報告

日本工学アカデミー中部支部企画推進部会

日本工学アカデミー中部支部（以降 EAJC と略称）では、6月30日（月）に EAJC 初の企画として、「ムダと“間”をワイワイ楽しもう！第1回 EAJC 井戸端会議」をオンライン形式にて開催した。事前に EAJC 会員向けに取ったアンケート結果より参加率が高そうな平日 18時から19時の開催とし、当日は11名の EAJC 運営委委員の先生が参加した。ここで、井戸端会議を開催するに至った背景について触れておく。

企画推進部会では、新たな中部レクチャー企画や活動の方向性を模索する議論の場を通じて、運営委員のバックグラウンドの違いから一つの話題についても想定以上に幅広い視点からの議論が弾み、その「間」がとても有意義であることに気づいた。更に、議論終了後の音声データをテキストマイニングすることで、無意識ながらも良く使われていた重要なキーワードを認識したり、個々が持っていた情報をデータバンクのように蓄積できることにも気づいた。

思い起こせば、コロナ禍で中部レクチャー等の各種の行事がオンラインとなる以前は、会終了後に講師を囲んだ懇親会があり、そこで多くの方々と多岐に渡る内容で対話し、ナラティブにその「間」を楽しむことができた。そういうナラティブでムダと間を楽しむ時間や偶然の出会いがコロナにより減少したように感じている。これは EAJC 全会員においても共通して持っている印象ではなからうか？という結論に至った。そこで、EAJC として会員が気軽に立ち寄り、参加者がお互いに一人称で自由に語り合うことができる場、つまり井戸端会議なるものを企画・運営する運びとなったわけである。一見、混とんとした無駄話のように見えても、自由で多様な発話の集積の中から、新規で独自の視点や新しいコンセプトが生み出されてくるのではないかと期待しているところである。

井戸端会議を開催するにあたり、まずは、EAJC 会員へ Web アンケートを実施し、EAJC への期待や中部レクチャーとして取り上げると良いテーマなどの項目について回答いただいた。また、井戸端会議当日の議論がスムーズに進むように、アンケート結果を参加者へ事前送付し、当日を迎えた。

当日は、ぜひ参加いただく運営委員の先生方に「井戸端でのコソコソ話は楽しかった！次回も来よう！」と感じていただけるだろうかと不安を抱きながら、井戸端会議をスタートさせた。しかし、参加者が笑顔で様々な話題について発言し、相槌を打つ姿をモニター画面越しに見て、その不安は杞憂であった。井戸端での話題は、コロナ、国際情勢、デジタル社会、EAJC 活動、モノづくり、工学教育、人材育成など、多岐に渡り、あつという間の1時間であった。井戸端会議の一コマを撮影した写真を添付する。参加者全員がリラックスして井戸端会議を楽しんでいる様子をご理解いただけるであろう。また、企画推進部会では、年4回程度の井戸端会議の開催を想定していたが、当日、参加者より、「もう一度同じメンバで開催しては？、1ヶ月に1回開催しては？」などの嬉しいコメントも頂戴した。第1回目としては上々の滑り出しであった。今回の井戸端会議では、様々な意見について深掘するまでは時間がなかった。実際、井戸端会議の音声データをテキストマイニングした結果を見ても、特に出現頻度の高い注目すべき

一ワードは抽出されなかった。次回以降、ブレイクアウトルームを活用した少人数での深堀議論や井戸端会議の冒頭で、事前録画しておいたビデオメッセージを数本流し、それらについてワイワイ議論するなど、井戸端会議の質向上に向けた議論を企画推進部会にて開始したところである。

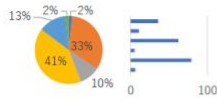
ストーリー型ではなく
ナラティブ型の企画推進を目指し…



2021/06/24
井戸端会議のネタ
(アンケート結果)

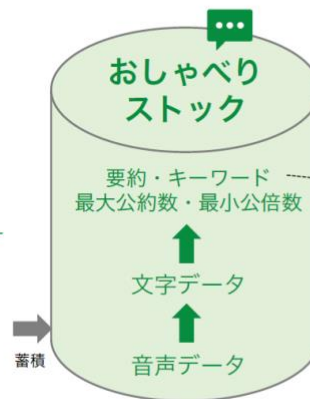
ムダと“間”をワイワイ楽しもう！ EAJC 井戸端会議

※定期開催 (4回/年)



第1回 (2021年6月)
・EAJC運営委員
・アンケート結果 (p.2-8)
眺めながらおしゃべり

第2回以降 (案)
・EAJC会員
・話題提供 (5-10分) に
基づいておしゃべり



混沌の整理
共通性の発見
未来の概念化
視点 (目線) の多様化

工学研究の将来
エンジニアの未来

EAJCへの期待
EAJCのミッション
EAJCの活動の方向性

可視化の一例 (p.9-12)

